

〔専門医による講話〕

- 1 テーマ 「メディアと目の健康」
- 2 対象 5年児童、教職員
- 3 専門医 三橋 玉絵 医師  
(ひでたま胃腸科眼科クリニック)
- 4 実施月 12月
- 5 内容(キーワード)  
目のしくみ  
目のはたらき  
スマホ・ゲームの正しい見方

評価(あてはまるものに○をつけ、理由を記入)

①健康課題の解決について

(○)とても有効だった

( )有効だった

( )課題が残った

<その理由>

\*専門医からメディアが目の健康に影響があることをクイズ、イラスト、写真でわかりやすく教えていただいた。これからの目の健康を守るためにやることの中に、「自分の目は自分で守る」というお話があり、児童は目の健康とメディアについて、自分事として捉え、解決のために考えるきっかけとなった。

②保健教育における校内連携について

(○)とても有効だった

( )有効だった

( )課題が残った

<その理由>

\*学校保健年間計画に生活リズムの改善をめざして、年2回生活リズム週間を設定している。生活リズム週間に向けて保健指導を実施するが、専門医からの講話を、保健指導、生活リズム週間へ関連付けながら実施することで内容の充実を図り、望ましい生活習慣を身に付けることを目指している。

③校外の関係機関等との連携について(派遣専門医を含む)

(○)とても有効だった

( )有効だった

( )課題が残った

<その理由>

\*学校医(眼科)にも相談の上、実施した。専門医の立場から、最新の情報を教えていただいた。近視の治療について、治療を始めている眼科も増えていることをお聞きし今後、保護者から相談があれば繋いでいくことができると思われる。

〔教科やその他の指導との関連性〕

○学級活動として実施し、2回目の生活リズム週間に向けた保健指導と関連付けながら、生活リズム週間の目標を自分で考え決定し、取り組んでいくことに生かしていく。

〔受講者の感想など〕

- 目が見えなくなると、サッカーができなくなるので、この授業をきっかけにゲームを長時間するのをやめようと思った。
- 授業で初めて知ったことがたくさんあって、メディアは30分にしてお休憩をとるようにしていきたい。
- スマホを30分以上見続けたらピントを合わせづらくなるし、自分の目は自分で守らないといけないので、ゲームは30分未満を意識したいです。